

歯・口の健康について関心をもち、自ら進んで健康な生活ができる児童の育成

鹿児島県南さつま市立田布施小学校 8学級 121人

本校では、命の入り口である、歯・口の健康に関心をもち、歯・口の健康を重点にした生活習慣の改善や向上をめざした保健活動に取り組んでいます。

歯科学院学生による歯科指導



保護者も一緒に
お口を
チェック

学校歯科医のお話



・ 子どもの歯もだいじなんてしなかった。
・ おやつは決まった時間にたべないといけないなんてはじめてでした。こんどから、おやつは食べる時間を守る。

・ 口の中にくまれているバイ菌はそうとう多いことにびっくりした。
・ みがき残しがないように順序よくみがくようにしたい。

保健給食委員会を中心とした取組

朝の全校集会での発表（6月）

保健給食委員会の発表



標語の発表や歯の健康クイズ



学校保健委員会の開催



【第1回目は保護者を対象に学校歯科医のお話】

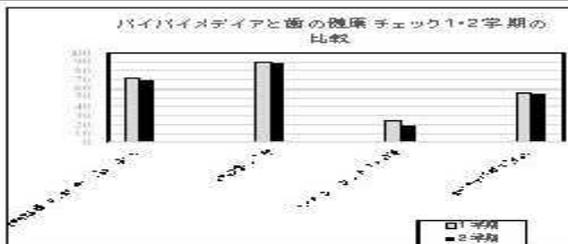
動画による、歯垢の中の生きた細菌の動きには、子ども達も大変驚いていました。

【第2回目は大学の先生のお話】

4～6年生児童も一緒に参加しました。写真や動画をつかって分かりやすくお話くださいました。



メディアを含めた生活習慣と歯の健康チェック



『9時以降ゲームをしない、早寝、夜の歯みがき、仕上げみがき』について、生活習慣と歯の健康チェックを実施した。仕上げみがきや治療を開始する等の保護者の意識は高まっているが、朝・夜の歯みがきがもう一歩である。今後も生活習慣の改善を含め啓発していきたい。

学級担任と養護教諭によるTTの授業



【まとめ】

歯・口の健康づくりは、生涯にわたる全身の健康づくりにつながるということを基本に、生きる力につながる生活習慣としての歯・口の健康づくりの更なる推進に今後も努めていきたい。